



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社

コード番号 5268 URL <http://www.asahi-concrete.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浦上 勝治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 松原 哲

TEL 03-3542-1201

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,454	8.5	△114	—	△98	—	△55	—
24年3月期第2四半期	5,026	△9.1	△56	—	△36	—	△37	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△4.21	—
24年3月期第2四半期	△2.83	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,514	7,335	58.6
24年3月期	13,353	7,504	56.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,335百万円 24年3月期 7,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	7.50	7.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.8	120	—	130	—	100	—	7.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	13,233,000 株	24年3月期	13,233,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	85,098 株	24年3月期	85,098 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	13,147,902 株	24年3月期2Q	13,147,988 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要等に後押しされた緩やかな回復基調でありますが、欧州の財政危機を背景とする世界的な景気後退や新興国の成長鈍化等により、景気の先行きは依然として予断を許しません。

当社の関連するコンクリート製品業界におきましては、震災復興需要が動き出したものの、公共事業全体では予算削減、事業見直しなどが大きく影響し、また第2四半期累計期間は期間的要因である不需要期にあたることから、厳しい業況が続いております。

このような状況下、当社は中期経営3カ年計画Challenge「New Rebirth」の最終年を迎え、主力製品であるボックスカルバートの優位性を高める耐震性接着継手工法「TB(タッチボンド)工法」や、「ECO-C・L(エコ・クリーンリフト)工法」の普及・拡販を軸に販売力強化を図ってまいりました。この結果、当第2四半期累計期間の売上高は54億5千4百万円となり、前年同四半期に比べ8.5%の増収となりました。

一方、損益面におきましては、営業損失は1億1千4百万円(前年同四半期は5千6百万円の損失)、経常損失は9千8百万円(前年同四半期は3千6百万円の損失)となりました。

製造原価管理の強化と販売費及び一般管理費節減への取組みを継続し、販売量の拡大を図るとともに受注内容・販売価格の改善を進めましたが、業績の改善に繋げることができませんでした。また、9月25日に京都市右京区更地(214.47㎡)を4千5百万円で、9月26日に遊休化していた綾部工場敷地(19,080.72㎡)を6千3百万円で売却したことに伴う固定資産売却益6千2百万円、固定資産除却損3百万円及び税金費用を加減算した四半期純損失は5千5百万円(前年同四半期は3千7百万円の損失)となり、前年同四半期比1千8百万円の損失増加となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

## (コンクリート関連事業)

コンクリート関連事業は、受注高は61億2千万円、売上高は54億2千9百万円(前年同四半期は50億円)、セグメント損失は1億1千万円(前年同四半期は5千万円の損失)となりました。

①セメント二次製品部門は、受注高は22億6千5百万円、売上高は17億7千6百万円(前年同四半期は17億6千万円)となりました。

②工事部門は、受注高が2億3千1百万円、売上高は1億5千3百万円(前年同四半期は1億3千6百万円)となりました。

③その他部門は、工事事業及びコンクリート製品に装着する資材等で、選別受注に努めた結果、受注高は36億2千3百万円、売上高は34億9千9百万円(前年同四半期は31億3百万円)となりました。

## (不動産事業)

不動産事業は当社が保有するマンション等の賃貸収入で、売上高は2千5百万円(前年同四半期は2千6百万円)、セグメント利益は1千4百万円(前年同四半期は1千4百万円の利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は125億1千4百万円(前事業年度末に比べ8億3千9百万円

減少）となりました。流動資産は前事業年度末に比べ7億9千8百万円減少し88億5千9百万円となり、固定資産は4千万円減少し36億5千4百万円になりました。流動資産の主な増減は、現金及び預金の増加が3億7千7百万円、受取手形及び売掛金の減少が11億9千万円となっております。

当第2四半期会計期間末における負債は51億7千8百万円（前事業年度末に比べ6億7千万円減少）となりました。流動負債は前事業年度末に比べ6億4千5百万円減少し47億7千8百万円となり、固定負債は前事業年度末に比べ2千4百万円減少し4億円となりました。流動負債の主な減少は支払手形及び買掛金の減少7億1千2百万円であります。

当第2四半期会計期間末における純資産は73億3千5百万円（前事業年度末に比べ1億6千8百万円減少）となりました。主な減少は四半期純損失5千5百万円及び配当金の支払9千8百万円による利益剰余金の減少1億5千4百万円及びその他の有価証券評価差額の減少1千4百万円であります。その結果、自己資本比率は58.6%となり、前事業年度末に比べ2.4%改善致しました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」と云う）は前事業年度末に比べ、3億7千7百万円増加（前年同四半期は1億3千4百万円の減少）し、当四半期末残高は10億6千3百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動における資金収支は、減価償却実施額9千2百万円、売上債権の減少11億9千8百万円等の資金増加が、税引前四半期純損失3千9百万円、仕入債務の減少7億9百万円等の資金の減少を上回ったことにより、資金の増加は3億9千7百万円（前年同四半期は1億1千6百万円の増加）となりました。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動における資金収支は、有形固定資産の売却による収入1億4百万円等の資金の増加を、有形固定資産の取得による支出1億2千万円等の資金の減少が上回ったことにより、資金の減少は1千5百万円（前年同四半期は1億5千3百万円の減少）となりました。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動における資金収支は、短期借入金の借入による収入1億円の資金の増加を、配当金の支払額9千7百万円、リース債務の返済による支出7百万円の資金の減少が上回ったことにより、資金の減少は4百万円（前年同四半期は9千8百万円の減少）となりました。

## （3）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月18日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,070,554	3,448,411
受取手形及び売掛金	5,194,885	4,004,081
製品	1,155,177	1,127,427
原材料及び貯蔵品	102,992	121,132
その他	143,823	165,633
貸倒引当金	△8,925	△6,884
流動資産合計	9,658,508	8,859,801
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	247,328	239,832
機械及び装置（純額）	148,288	159,549
土地	1,720,310	1,678,262
その他（純額）	364,444	386,397
有形固定資産合計	2,480,372	2,464,041
無形固定資産	73,258	73,220
投資その他の資産		
投資有価証券	930,601	907,815
その他	221,689	220,245
貸倒引当金	△10,832	△10,796
投資その他の資産合計	1,141,459	1,117,264
固定資産合計	3,695,090	3,654,526
資産合計	13,353,598	12,514,327
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,979,724	3,267,264
短期借入金	1,200,000	1,300,000
未払法人税等	20,331	11,393
賞与引当金	79,142	66,086
その他	144,969	133,693
流動負債合計	5,424,167	4,778,439
固定負債		
退職給付引当金	81,531	84,836
長期未払金	115,410	104,130
その他	227,934	211,059
固定負債合計	424,876	400,026
負債合計	5,849,044	5,178,465

## 旭コンクリート工業(株)平成25年3月期第2四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金	819,054	819,054
利益剰余金	5,418,799	5,264,772
自己株式	△44,829	△44,829
株主資本合計	7,397,924	7,243,898
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106,629	91,964
評価・換算差額等合計	106,629	91,964
純資産合計	7,504,554	7,335,862
負債純資産合計	13,353,598	12,514,327



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,026,719	5,454,848
売上原価	4,588,239	5,078,672
売上総利益	438,480	376,176
販売費及び一般管理費	494,779	490,464
営業損失(△)	△56,298	△114,287
営業外収益		
受取利息	4,031	2,524
受取配当金	8,068	14,563
その他	21,876	17,621
営業外収益合計	33,977	34,710
営業外費用		
支払利息	7,237	7,182
その他	7,140	11,626
営業外費用合計	14,377	18,809
経常損失(△)	△36,698	△98,387
特別利益		
固定資産売却益	—	62,533
特別利益合計	—	62,533
特別損失		
固定資産除却損	5,261	3,236
その他	265	—
特別損失合計	5,526	3,236
税引前四半期純損失(△)	△42,225	△39,090
法人税、住民税及び事業税	8,832	8,726
法人税等調整額	△13,799	7,601
法人税等合計	△4,967	16,327
四半期純損失(△)	△37,257	△55,417

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△42,225	△39,090
減価償却費	75,616	92,233
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,422	7,253
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,053	△2,076
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,161	△13,055
受取利息及び受取配当金	△12,100	△17,088
支払利息	7,237	7,182
有形固定資産除却損	5,261	3,236
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△62,533
売上債権の増減額(△は増加)	1,007,673	1,198,295
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,079	9,610
その他の資産の増減額(△は増加)	△40,708	△42,190
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,045	796
仕入債務の増減額(△は減少)	△734,120	△709,816
その他の負債の増減額(△は減少)	△111,031	△23,414
小計	133,686	409,343
利息及び配当金の受取額	10,660	15,531
利息の支払額	△7,237	△7,182
法人税等の支払額	△20,112	△20,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,996	397,592
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	200,000	—
定期預金の預入による支出	△120,000	—
有形固定資産の取得による支出	△90,077	△120,746
有形固定資産の売却による収入	—	104,657
ソフトウェアの取得による支出	△285	△1,125
投資有価証券の取得による支出	△145,021	—
出資金の回収による収入	400	—
差入保証金の差入による支出	△3,919	△2,461
差入保証金の回収による収入	4,947	4,143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,956	△15,531
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	100,000
自己株式の取得による支出	△6	—
リース債務の返済による支出	△1,105	△7,193
配当金の支払額	△96,913	△97,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,025	△4,204
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△134,984	377,856
現金及び現金同等物の期首残高	948,843	685,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	813,858	1,063,411

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。